

城南コミュニティセンター 市長と語る会

日 時：令和 6 年 11 月 20 日（水） 午後 9 時 30 分～10 時 50 分

場 所：城南コミュニティセンター

参加者：8 名

担当者：市長、地域担当職員【阪本（建設課）、滝沢（資料館）、小野（健康課）】、塩田（秘書課）

1. あいさつ

（所長）

まずは、コミュニティ会長からあいさつをお願いします。

（会長）

市長には忙しい中、城南コミュニティのために時間を割いていただき、感謝申し上げます。

城南コミュニティにおいて、11 月 9 日、10 日にふれあい祭りを開催した。センターが出来て 30 周年と銘打って、南の田んぼにブルーシートで 30 を書いて、地域の人がドローンも撮ってくれた。天候もよく多くの市民、町民の方が来ていただいて、企業等からも寄付金等もいただいたので、先着 500 名に 30 周年のお祝いということでお餅等も配った。それも無事に完売して、2 日とも皆さんに喜んでいただけるお祭りができた。

ドローン等で上からの写真はコミュニティの LINE に載っているのでぜひ見ていただきたい。また「みなみ」の新聞等にも今後載せていこうと思っているので、よろしくお願いしたい。

市長もご存じのとおり城南は子供も増えて、また新しく住宅ができていますので人口も増えている。これは丸亀市にとってもありがたい悩みだと思うのが、調整区域がなくなると急に住宅ラッシュ。それは生活環境がいい、一番安心安全なまちだからと思っている。

その辺も含めて、行政の二重投資とならないように、やはりインフラ整備をしていただいて、住んだ人が気持ちよくここに住んで、丸亀市のために寄与できるようにお願いしたいと思っている。今日はいろいろと言うが、ひとつ前向きに検討をお願いしたい。

（所長）

LINE の公式アカウントは丸亀市も作っているが、城南も作っているの、市長も登録していただきたい。岡田や城西、城坤、今のところ 4 つのコミュニティがやっているそうなので、登録して情報を取り入れたら、また話皆さん話しやすいと思う。それでは市長からあいさつをお願いします。

（市長）

まずは皆様方には朝からお集まりいただき、お礼申し上げます。また日頃から丸亀市政運営に対してご理解とご支援、ご協力をいただいていること、本当にありがたいと思っている。

会長からもお話があったように、城南地区は活気がある。それはやはり人口が増えている、また子供たちが増えていることが要因だと思っている。私達にとっても、この城南地区のような元気なまちが丸亀中にできればいいと思っているので、今日は生の忌憚のないご意見をいただきたい。

2. 意見交換

(所長)

それでは、市長から今年度の重点プロジェクト等について要点をご説明していただく。

(市長)

まちづくりは人づくりということは、丸亀市議会議員時代からずっと、人というのが一番大事だと考えており、いつの時代においても、人づくりがまちづくりの土台となると確信をしている。市長4年目になったところで、それを前面に出して市の方針とした。

まず丸亀市では長期的な将来を見据えて、人づくりを推進していこうということで、市民が主体となった協働のまちづくりをさらに推し進めるために、今年の4月から協働推進部を創設した。市民主体の持続可能なまちづくりの実現に向けて、官民協働、誰もがまちづくりに参画できる環境を整え、丸亀市を協創していきたいと思っている。

私は35歳で丸亀に戻ってきて、そこからずっとコミュニティ活動を私自身やってきた。そういった意味でも、やはり各17コミュニティとその地域住民が、官民協働という形で丸亀のまちを作ってくれていると強く感じている。

具体的な話をさせていただくと、1戸当たり300円出していた自治会の補助金を、今年の予算では、4月からは1戸当たり600円にした。金額的には大きくないが、今までの倍にしたことは市の気持ちの表れとしてくみ取っていただければありがたい。

それと自治会長も大変苦労されているので、自治会長の手当、それを若干であるが、1.5倍から2倍弱ぐらいに4月から上げさせていただいた。他のコミュニティの市長と語る会でも、やはりコミュニティ、自治会において、次を担ってくれる人がなかなかいないといつも聞く。それが現実ではあるが、今の丸亀市のまちを作ったのは、約30年皆様方がいろいろ取り組んでくれたおかげだと思っている。

今年1月1日、能登半島の大地震が起きた。丸亀市からは1月5日から7月1日まで約半年間、毎日3人の職員が七尾市で仕事をするという形をとった。土日、祝祭日、ゴールデンウィークも必ず3人の人間がずっと行っており、約180日間で述べ140人が七尾市の被災地に入った。

行っている職員からは随時報告を受けており、いろんな教訓をいただいている。それを丸亀市も活かしていこうと思っている。その中で、地震が起こった時にいろんな命を救ったのは、結局は近隣住民の人たちの繋がりであった。これは東日本大震災でも、阪神淡路大震災でも、能登でも明確に分かっていることである。やはり地域のコミュニティが本当に大切だということを改めて感じ、このコミュニティ活動というのをしっかりと継続して、丸亀市としても一緒にやっていきたいと思っている。

それと、人づくりということで小中学校の子供たちのこと。教育委員会の方では今年の4月から「人づくり石垣プロジェクト」という名前をつけて、子供たちに対する予算を取り、先生方を増やすということをやっている。

この名称は、6年前に丸亀城の石垣が崩れたが、今年8月20日から一番下の大きい石から1つ1つ積み上げを開始した。この11,700余りの石垣を積み上げていくことになぞらえている。石垣については、市長になったばかりの時、文部科学省に、近代工法でさせて欲しいという話を持っていた。しかし、国からの指導は400数十年前に積み上げていったものと全く同じように、近代工法は使わずに1つ1つを積み上げるということで、本当に丁寧に積み上げていく。

コロナ禍での学校は、かなりお休みの日が多くあった。その後、行動制限が解けた後の子供たち

の不登校の数が、コロナ前から約 2 倍になっている。これは日本全国で約 2 倍になっていると聞いているが、丸亀市も約 2 倍になっている。

教育長、先生方にもいろいろ話を聞いて、やはりコロナ前までにまず戻す。それには子供達と直接対面して話す時間をとることが一番いいということを知り、丸亀では独自に約 1 億 2000~3000 万円の予算をつけた。小中学校の講師、支援員、補助員、その他スクールソーシャルワーカー、ALT、そしていろいろな相談業務にあたってくれる O B も含めて、全部で 51 名を新たに雇うということを決めた。

最初に教育長と話した中で、予算をつけても、なかなかしてくれる方がいないということがわかった。そこで教育長自ら一人一人にお願いをして欲しいという話をして、それを実際教育長始め教育委員会の方々が取り組んでくれて、今現在では予定通り 51 名の方を新たに雇うことができた。ちなみに令和 5 年度の正規の先生以外の方は 74 名、9 月 1 日現在では 134 名。これもひとえにいろいろな方々のご協力のおかげと思っている。

このプロジェクトを 5 年間やることにしており、もちろん私の気持ちとしては、この 5 年間で結果を出して成功し、できれば丸亀教育という形で続けていければと思っているところである。

それと、やはり何といても子供達の学校の施設整備が大事と思っている。今、学校だけではなく、鉄筋コンクリートの建築物は、50 年を迎える建物が一挙に来ている。例えば今年の予算にも、投資的経費という建築の予算は 200 億円を超え、ほとんどが学校関係、14 校に予算を割いている。

もちろん城南小学校の大改修、城坤小学校の大改修。そして城東小学校は土器川のすぐ横で地盤も悪いので、杭を打って大改築している。その他、綾歌中学校の体育館も新しく建てており、いろんな調査をした中で飯山南小学校、飯山北小学校は両方ともおそらくかなり状態が悪いので、建て替えなくては行けない状況になると思う。

今の話は一部であり、そういった学校関係が今からどんどんあるので、建築には本当にものすごいお金がかかるが、私としては予算をしっかりと用意して臆することなくどんどんやっていこうと思っている。これは市の職員幹部とも話し合っており、もちろん教育委員会とも話し合っており、まずは教育関係の施設関係をできるだけ早く進めていこうという形をとっている。

以上、「まちづくりは人づくり」の説明である。このことについても何かご意見があれば、忌憚のない意見をいただきたい。よろしくお願いします。

(会長)

城南小学校の場合は、第二運動場は出来たが、長寿命化ということで、一応私たちが聞いているのは今の鉄筋校舎の骨だけにして、天井から壁から全部やり替えて、電源などのコンピューター関係を全部入れていく。抜本的に骨が一緒なので、廊下の幅は変わらない。新築する城東や新築の城西は、廊下の幅が全然違う。

例えば骨が同じなら、南の日当たりのいい外のベランダを出して、そこまで校舎に出来ないのか聞くと、出来ないと。それでは例えば公民館で使っていた北の一番東の端、あれを新しく 3 階に出来ないのかと聞くと、下が脆弱なので出来ない。それならそこを無くして少し広いところで教室も増やして、ちゃんと作るプランを言っても 1 つも前に向いて進まない。市長、頭の隅に置いておいていただきたい。

(市長)

会長が言われたように、本当は全部建て替えた方がいいと思っているが、ただ日本全国も同じよ

うな鉄筋コンクリートで 50 年迎えるところが多く、特に丸亀はいち早く迎えている。国からの長寿命化という指導がある。一挙に建て替えるとすごい予算がかかってとてもではないが出来ない。

(会長)

全部新築にするようにとは言っていない。北の東のどこ。元々は公民館で使っていたが、2 階は教室にしていた。私が先輩から聞いていたのは、公民館で使わないときには壁を抜いたら出来と言ったが、どうもそれは強度的に出来ない。補強も出来ない。昔は青い鳥で使っていて、今は空いている。そこだけでも壊して広く 3 階まで。

城南小学校は、特別教室などは衝立で仕切っている。子供たちが十分授業が出来て、いろいろな活動ができる場を、やはりベストな状態にしていきたい。もう既に工事にかかっているので、全部新築にしろとは言わない。まだかかっていない元の公民館のところ、そこを 3 階にできないか。

城南小学校のために前向きに考え、増え続ける子供たちをどうしていくか。どうも根底には何年かしたら城南も子供が、人口が減っていくと、私は全部底辺にそこがあると思う。今の人口で事業は全部していける。国の方は国土強靱化で、物価が上がって税収は絶対伸びている、国はお金があると言っていた。それなら丸亀市も補助をもらって、どんどん良いようにしていこう。私はあの 8 年間で職員のやる気が全然無くなったと思う。

(市長)

現実を言うと、8 年間で学校は工事をやっていない。なので、今一挙にやっていこうとしている。

(会長)

あそこを 3 階にして欲しいと言っても出来ないと言われる。他の文部科学省の補助事業もある。やはりそのあたりを検討していただきたい。我慢してきた城南小学校なので、前向きに。運動場も出来たが、他の学校に負けられないような学校にしていきたい。住民のみんなの気持ちである。

(市長)

大改修するのと、全面建て替えするのとでは大きな差がある。会長が言っていることは分かる。私から教育長に話はする。

(会長)

やはりみんな我慢していると思う。それと、教育長と地域の学校運営協議会のみんなといろいろ話をした。その中で、先ほど言ったように石垣プロジェクトをするということで、どうも丸亀は先生方の組合が強いらしく、先生方の研修があっても行かない人がたくさんいるらしい。人を増やしても、先生方の能力を上げてもらわないといけない。先生は聖職といわれるので、もう少し自分達が丸亀のまちをつくるという基本理念で、将来に向けての子供の学校生活をみていただくということが必要ではないか。

(市長)

教育長は尊敬する本当に素晴らしい方で、子供たちのことを真剣に考えて一生懸命取り組んでくれている。市役所 3 階の教育委員会は夜遅くまで電気がついて、土、日も出て来て仕事をしているのも現実である。そのところは分かっていたきたい。

(会長)

それは私の時からそうであった。私たち公務員生活時代は 38 年の間に何をするかという教育をされたし、してきたつもりである。自分の想いがまちをつくる、そのために市役所に採用されたという想いが伝わってこない。市長に頑張っていたきたい。

(コミュニティ 1)

学校関係でお聞きしたいことがある。小中への予算を増やして 1 億 2000 万円で 5 年間続くということは、1 年目が今年か。

(市長)

はい。

(コミュニティ 1)

5 年間の最後の結果について、これができたら 1 年目はクリア、2 年目はクリア、5 年目でどうなったら 1 億 2000 万円かけたということになるのか。

(市長)

コロナ前までに戻すことが一番の目的。一番は増えている不登校の子供達への対応の結果が出たかどうかということ。

(コミュニティ 1)

不登校が今ものすごい数にいるというが、城南小学校でも具体的な数は言われない。

(市長)

表には出さない。

(コミュニティ 1)

不登校の数が減る、例えば今 100 人いるとして 1 年目に 95 人になったら、90 人になったら結果が出たという、不登校の人数で評価するのか。

(市長)

そういうことである。最初の目指すところが、不登校の子供たちがここまで増えたので、それに対してどうにかしたいという憂慮からである。

た、結果は数字だけではない。言葉で言うと不登校の子供たちが減るという形をとることであるが、やはり不登校の子供たちの状態ということもある。完全に駄目なのか、少しは来てくれるのかなど。そういったいろんな要素もあるので、そのところは私は専門家ではないので、教育長を中心に結果はお任せをしている。

5 年間は予算を取ることを決めているので、その後教育委員会から予算を継続してずっとやってくれとあったら、その時の財政状況にはよるが付けたいと考えている。

(コミュニティ 1)

不登校は 100 人いれば 100 人、背景が違ふと思う。いろいろな背景があるので、ただやみくもに人数を増やしたから不登校が減るものではないと思う。背景がどうであれ、声を 1 回掛けたら明日から来るような話では絶対ないので、継続して支援をすることによって不登校が解消されて、将来は税金を納める子にならなければいけないと思う。学校は、税金を納める子をつくるためにはどうするかを考えなければいけない。

ソーシャルワーカーやスクールカウンセラーが、いいんだよ、今は充電する時期だよ、ということの不登校を増やしていると思う時はある。担任の先生など 2 人 3 人という体制で見ることによってその子の背景や環境がよく分かってきて、ぽっと来たスクールカウンセラーやソーシャルワーカーの人数を増やしたとて、という気が私はする。増やしたから不登校がなくなるのかといたら、ちょっとそれはどうか。

現実には学校が面白かったら子供は来ると思う。この間の城南小学校の運動会を見ても、子供は本

当に嬉しそうにしていた。やはり子供はこういうものが好きなんだと思った。しかし、そういう子供の好きな行事は削減をしていくというスタイルで、教育委員会は「行事を元に戻したいと言うな、先生のメンタルがやられる」と。なので、何も言ったら駄目なのだと感じた。

私が言いたいのは、本当に子供にとって面白い学校になったら不登校は解消すると思う。面白い学校にするためにはどうしたらいいか。今は働き方改革が子供の学びより優位に立っているが、私は間違っていると思う。でも、そうなりますと管理職の先生がおっしゃった。城南小学校では、働き方が子供の学びより優位に立つ。この間教育長も、行事が子供を育てると言うが、それを言うなと言った。11月は“こどもまんなか月間”と言われているが、本当に子供を真ん中に置いているのか。大人ファーストじゃないかと感じる。51人の雇用を増やしたといっても、それは先生を楽にさせるための雇用を増やしたただけであって、本当に目が子供に向いているのかというところをしっかりと検証する必要があると思う。早急に。先生の時間を増やすために子供の学びがおろそかになっているという現実をやっぱり見るべき。なんかそこがずれている気がする。

面白い学校にしたら子供は来る。この間の運動会を見て、地域の大人が集まって頑張れと必死になっているところを、子供が見ることはものすごく大事で、子供が肌でこの地域はいいなとか、この地域で大人になりたいなと感じることだと私は思う。それが人づくりではないか。先ほど市長がおっしゃられた、人づくりがまちづくりになる。

城南（みなみ）が良かったといって戻って来てくれる子、ここで仕事をする子、ここで税金を納める子ができなかつたら、丸亀市は潰れていく気がする。元に戻るが1億2000万円を使って5年間プロジェクトをするのであれば、根幹のところをどうするのか、どう検証するのかというところがやはり重要ではないかと思う。

（市長）

ありがとうございます。教育委員会と話をする。

（コミュニティ1）

一生懸命言ったのに簡単な文書が返ってくるので、何か熱い文書で返していただけたら嬉しい。

（市長）

今日言われたことは私も聞きながら、おそらくそうだったと思う。ただ、時代が変わっていると毎日のように感じる。今、市の職員採用試験を実施しているが、思うように人が来てくれないという時代を迎えている。

学校の先生方も、少し前から比べて受けてくれる人が減っているということを聞いているので、どうしたらもっとたくさんの方々が来るか、私も思ったりしている。またその兼ね合いについては、特に教育長は苦しんでいるところである。

教育長は本当に熱心で、子供たちへの想いを持っている方だと思うので、今日言われたことは十分私の頭の中にも入れる。

（コミュニティ1）

面白い学校に。

（市長）

私の時は面白くて仕方なかった。

（コミュニティ1）

今は面白いことを削減している。

3. 質問

(所長)

続いて、事前に質問票を渡している。市から回答をいただきたい。

(市長)

下水道管布設に工業用水管が支障となる箇所について、今後水道企業団と施工方法の協議を進め、この協議が整い次第下水道整備に着手をしていきたい。

工業用水管は雨水排水のために設置された施設でないため、構造上の課題があると思われる。まずは水道企業団より施設に関する資料提供をお願いし、現状の把握を行う。雨水幹線等への利用変更については、国、県の承認が必要となるため、今後の状況に応じて検討する。

(会長)

いずれ下水道も水道と同じように全部県下ひとつになると思う。人口が減ってきているので一緒にならなければいけない。こういった工業用水の管として使わない管は置いていて、それで黙っている丸亀市はいけないと思う。老朽管はどうしたら再利用出来るか。基本的に国土強靱化事業で補強したら、1mの管が90cmになろうが雨水管としては使える。

そのルートは、善通寺からここ城南まではなくていい。これが下流域の清水川にもいっていて、古子川にもいっている。そういうルートの再利用など、今の技術力でする時代になってきていると思う。ぜひ、再考をお願いします。

(阪本)

この件について私も建設課の立場なので、下水道課に代わって言いづらいところもあるが…

(会長)

市道は占用させているので、使わないなら退けと言えればいい。その代わり雨水管で使用出来るのであれば下水道課に移管する。

(阪本)

以前、城南エリアの下水道の設計をした時には、まだ工業用水の水道管は使われており、それがじき老朽化の関係で使わなくなるので、それを除けるという想定で当時下水の設計をしている。県の方に聞くと、老朽化のため使われていないということなので、それをどういう風に撤去するかを下水道課で検討するように動いてもらっている。それで以て下水の整備も進めていっている。まだ少し時間がかかると思う。

(会長)

私が下水道課にいた時、山北八幡から東に行くところは4mの市道があるために、沈埋工法で、工水に影響ない。工水を引っかけたら家が一軒飛ぶと言われた。6000万円ぐらい補償がいると言われたので、沈埋工法であそこは入れた。

そういうやり方もあるが、今は不要になっているなら補強して、雨水管として再利用、柞原のあそこら辺から始まって土器町西も、雨水には弱いところ。末端が二級河川にいらっているのであれば、そういうものを土木資産（治水構造物）として補強して使っていく、そういう発想の時代である。技術的にはいくらでもできる。

この前お城の内堀の横で、もともとある城東町の雨水路、下水道が整備済みであの辺りは水路があいていた。そこに 60 cm のパイプで接続した。そういう考えの基で上流でしていったら、また 1 つ変わってくるのではないかと思いますので、選択肢の 1 つにしたい。

(市長)

県道丸亀停車場線の道路拡幅について、市長になってすぐに知事のところに拡幅の要望に行って、拡幅するということで計画は立ててくれている。香川県の県道の拡幅工事に合わせて、下水道整備も行っていきたいと考えている。

(会長)

それは今城西校区でやっている、一鶴の向こう。私が言っているのは城南校区。例えば下水ができて、私の現役時代は三無電機までは入れている。亀山学園に行くということでサブ管を入れているが、本管を入れるやる気がないのか、そこは道が広がらなければできないという話である。道の西は下水が入って、道の東は下水が入っていない。いつ道が広がるのかというと、知りません、県が計画していません、北からやっているがこちらに来るのは何年先かわかりませんと。行政サービスの格差を作っているのか。

浄化センターが終わったのであれば、予算を国土強靱化で取れるので取ってもらって、国道 11 号線から北は全部下水やるというのであれば早くやっていただきたい。又、北でもコミュニティセンターまで来ているが、まだこの北も取れてないところがたくさんある。田村の方でも取れていないところがたくさんある。

北から自然流下で攻めてきたが、やはりそこを合併してどうこういうのではないが、飯山綾歌は流域なので家の塊しかいらない。農集などは農家しか取れない。新築家屋は浄化槽がパンクするから取らないとか。旧丸亀の所はエリア決めたら全部取る話なので、そういう下水道のイロハ、公共下水道とは何かとやっていただかないと。家の玄関に付けられても喜ばない。家の裏に持ってきたらすぐ繋いでくれる。

公共下水道といたら、施主がここで取ってほしいと言ったら取りに行っていた。水道やガスに奉公するのが下水道ではないと思っている。私はそのお金をそれは違うと方針を替えていた。私達がしていた時を見ていたと思うので、そういうことでいかに市民が何を求めているかをやる。下水道を入れても繋いでくれなかったら意味ない。下水道は繋いで料金をもらってなんぼ。それをちゃんと認識してもらわなければいけない。

(市長)

新しい浄化センターが、2 週間前に 100% 出来上がった。総工費が 150 億円をはるかに超えた金額がかかったものが出来上がって、今の日本では最新型の設備である。一番の売り文句はメタンガスを使って電気を起こす設備を作った。

丸亀市の下水は全部そこへ流れていく形。

これ本当に素晴らしいものができたので、少しでも今言われたように下水道を引っ張っていきたい。

(コミュニティ 2)

どこに出来たのか。

(市長)

昭和町。今治造船のクレーンがたくさん立っているところの南側。かなり広い。もともとあったのが今治造船の北側。それを今から全部つぶさなければいけない。今治造船の土地を譲っていただ

いて、そこに新しいものを建てて、100%稼働がついこの間出来上がった。今ある古い部分は潰して、今治造船にその土地は全部買ってもらうという形をとる。

(会長)

丸亀と金倉川流域に浄化センターが2つある。国から見たら距離が近くて、片方の金倉川流域は最後まんのう町までいっている。人口が減って汚水量が減ったら収入が減る。将来的に中讃が合併したら、どちらかでポンプ場を作って汚水を送水して、出来るだけ金をかけないように。いずれ下水道は、水道のように県下1つになると思う。

そうしなければ、中津の金倉川西の万象園から始まって、浄化センターは二つとも近くにあるのもあそこだけ。下水が入らない。本当はあそこを通して金倉川流域に入っていけばいい話。いろいろと政治的なことがあって、国はおかしいと首をひねっているが、県と市でいろいろあったのか。

(市長)

全部経緯を知ったうえで、私は県に言った。

(会長)

税金をかけないでするにはどうするかがベストだと思う。出来たものは浄化センターの水系列をそんなに増やさないで将来はどっちも見て、むこうは汚水量が減ってくる。その辺も考えて、税金を無駄な投資はあまりしないように考える時期かなという気はする。いろいろ考えていただきたい。

(市長)

2番目について。今度ニトリの店舗が来るところ、ここは11号線から南になる。ただ、事業者が下水道の接続を希望する場合は協議に応じる。11号線から下を通して繋がれば出来る。

(会長)

下流域の田村町、農協の丸亀西支店の南は、雨が多かったら市道が浸かる。消防団の機械置場の辺りは水が流れていくところ。雨水は大型店舗なら貯留槽などをするが、最終的には全部そこに流れていく。

あれだけ大規模で利用者がいるなら、生活排水は下水道にとってあげる。11号線の北まで下水道が来ているが、国道の部分は市や県でなければ抜かせてくれない。民間ではだめなので費用をニトリに出してもらえばいい。ニトリが浄化槽をするなら何千万円いる。それはどちらが得か、民間なのですぐに算用すると思う。

マンションなどは下水に取ってあげるので、浄化槽1000万近くするのを止めて、向こうの費用で設計だけして全部入れてもらった。市が言った業者でしてくださいと。

教科書通りでなくいろいろ考えて、丸亀市はどうしたらベストかというのは、過去にいろいろしているので見ていたと思う。やはり知恵を出してお互いが良いようになるようにしていただきたい。ニトリは水利と話して、もうすぐ着工するという話を聞いた。

(阪本)

下水道課にもその旨言っておく。

(会長)

雨水の末端は担当は建設課である。“京極の里”の裏は全部水浸しになっている。できるだけそういうところに水がいかないように水路を広くする。みんな田んぼに水を入れるための水路で昭和30年代40年代に作った水路なので、やはり家が増えてきたら狭い。元はその方が早く水が走る、田んぼに早く水を入れる。それを今は排水路に使っているが、そうなるといけない。

やはり上流から取れるもの取れるとか、大型店舗は考える。それと下流域から排水計画を立てているらしいが、昔立てていたときは土木港湾課に 1 つ教科書があった。今に合ったものを立てていただきたい。

城南地区は何が駄目かという浸水。床下まではいかないが、道路や駐車場が浸水する。家が増えて、新興住宅でも城南地区の浸かるところは年々増えてきていると思う。その辺を考えていただいて、我々はお願いするしかない。

(市長)

雨水、排水について、私も心配しているところ。私が市長になった年に大雨が降った。今まで冠水なんかしたことがなかった 17 地域が、新たに冠水したと上がってきた。それだけ局所的な雨が降るようになったということだと思う。

会長も言っていたように、丸亀市はどんどん土地開発、田んぼが宅地になったり、商業地域にもなったりした中で、本当に水の行き場がなくなった。それと、ここ 4,5 年の雨の降り方というのは気象庁の方からも報告が出ているが、全く変わっている。

その対策で丸亀市は雨水排水の計画が、ほぼ出来上がっている。出来たが、それを全部するには膨大な費用がかかるということで、国と県にもその状況を説明している。正直言って香川県の中でも、一番丸亀が懸念あるところだと思っているので、県にも一緒にやってもらわなければ丸亀単独では到底できない費用がかかる。県が一緒になって国に要望してもらうように、今その行動に移しているところである。

計画は職員が作ったので、その計画を基にどう実行していくかということに取り込んでいく。

(会長)

去年も言ったが、清水川の改修は今、樋口のクリーニング屋さんで止まっている。私たちが南に行く道を上げたとき、あそこを横断している。いずれ河川拡幅事業があるので仮設でさせると、あの道路は仮設でしているので、あれをずっと西の馬池まで引っ張って、市長が言ったように県道の府中線まで延ばしていつ取るしかない。早くしてあげれば柞原も助かる。

あの道の西の方は市の職員の O B が田んぼをしているが、そういうことなら協力すると言っているので、何とか県に頼んで一時止まっているものをまた上流域に延ばす。県にお願いしてやってもらう。

土器川にもう少し水が行くように。

(阪本)

今、総合排水計画の策定を、危機管理課を中心に関係課の建設課、下水道課、農林水産課を含めて協力して、その計画を作っている。言われている清水川流域についても、その計画の 1 つとして対策案を作っているので、それに基づいて今後やっていく。

(会長)

市長と知事も話ができるのであれば、早く着工していただきたい。少しでも着工したら先が見えてくる。

(市長)

話はしている。ひとつだけ情報として、今年 8 月に台風 10 号から来て、丸亀は結局大きな被害はなかった。東かがわ市には線状降水帯が出て、気象庁によると香川県では初めてといわれているが、1 時間 50 ミリの雨が 3 時間降り続いた。それで多少の被害が東かがわ市に出た。香川県はも

ともと雨が少ないところであったが、そういう雨が最近降るようになった。

土器川の工事等を国の方で進めていただいているが、そこにも一生懸命取り組んでいこうと思う。

(会長)

ちなみに市役所のあたりは合流なので、設計は確か 34 ミリ。1 時間くらいなら 50 ミリ持つかもしれないが、3 時間は市役所の周りはパンクする。

職員の皆さんは情報を知っていただわなければいけない。コミュニティ会長会でその話をして、飯山・綾歌の職員はみんな知らない。そこを危機管理課が常に出して、丸亀の施設はこういう設計でこうであると、合流区域について、そういうものを認識していただわなければいけない。

(阪本)

そういった情報も総合排水計画の中に吸い上げて、50 ミリ 1 時間程度の雨に耐えうるような計画に策定しようと動いている。ご理解をお願いする

(会長)

基本的に農業用のため池、我々の所では田村池。当コミュニティセンターの南で米を作っているのは私一人になった。それが実情。国土交通省の調整池と農林水産省のため池、田村池と先代池と蓮池の三つがあれば、2 時間まちを守れば浸からないので、そういう戦略を立てる時代に来ている。そこを排水計画とともに。基本的な考え方を県知事と市長で協議して、基本方針をたててほしい。

(市長)

またそれを具体的に土地改良と話をして、また会長にも相談するがよろしく願います。

(会長)

機会あるごとに私は言っているが、ため池は耕作人が何人いるか。増えはしない、減っていくだけ。

(男性)

先ほどから何回も繰り返しとなり申し訳ないが、総合排水計画の中で農林水産課にも入っているのは、ため池を貯水池として活用して、治水が出来ないかということを計画の中に反映している。その辺も会長をはじめ地元土地改良の方にご協力を、農水からしてくことになると思う。

(会長)

ため池管理者が今何を困っているか、そこを解釈しなくてはいけない。高齢化になってきて、草刈りは年に 1 回でだめと言われて、それをいかにするか。それをクリアしたら調整池は全部判を押してくれるのではないか。

(市長)

農水の人間は水を調整するというのは、池を管理している土地改良ではなかなか了解してくれないだろうという推測であるが、それを口説きにいかなくてはいけないと言っている。

(会長)

市が管理しているため池の電柱の支線にツタが上までいつているところ、職員が 1 人来た。その後も見ているが変わっていない。市は管理者としての務めをしなくてはいけない。

(市長)

調整に失敗して農作物に本当に影響が出たら、丸亀市は作物の取れ高の分を 100%補填することは職員に指導したところである。そこまでやるので、池の管理者に説明に行こうとしているところである。

(会長)

平成の大渇水の際に、水利組合では田んぼごとにポンプで水を入れた。その時が一番米が良く出来ている。時代は変わってきているので、そういう発想を柔軟にして、何に困っているか話せばわかる。ニトリのことも含めて。以上、願います。

(市長)

3番目について、2026年9月1日からは、法定制限速度が60kmであった一般道路が、30キロになる。

(会長)

ただ、写真を付けていたが、城坤小学校の南の東西線、昔は県道多度津丸亀線だったが今は市道。これは今全部30km。それと南中の東側の南北線も、自転車がたくさん通るといって30kmにしている。城南もこれだけ通っていたら、道路管理者が警察と話をして出来たのでは。どうしてここが出来ないのか。

ぜひこれと、前から言っているが、市役所は小学校から500mしかグリーンのラインは引けないと言う。子供中心に考えたら全部引けとは言わないが、亀山学園の西の隅まで引いていただきたい。市道の白線は引いてくれたが、グリーンに塗るのは出来ないと言われる。

この場所から100人以上の子供が北の団地等から出て来ている。パトロールも60人のボランティアに頼んでしているが、右側通行している子にこっち通れとは言えない。グリーンでもあれば言いやすいが。あそこは両サイド歩くらしい。そこを迷わないようにしていただきたい。

今度クスリのアオキが出来たらまた交通量が増える。その辺を考えていただいて、林病院のところを出たところの交差点も5時過ぎになったらすごい。林病院の西に田んぼがある。車が多くて止まって農作業ができないということで、今年は米を植えなかった。話をして、駐車場の代替をここで考えるなど、何か事業を考えて交差点を改良してあげてほしい。スーパーとアオキが来たら手に負えなくなる。

(阪本)

今言われている市道田村町柞原線の予算は、令和6年度から道路名を出して改良事業費ということで予算を取っている。ただ、用地買収とかも絡んでくるので少しずつではあるが、道路の拡幅や交差点改良を行っている。来年度も予算要求していく予定で動いているので、ご理解いただきたい。

(会長)

やはり城南地域は不動産関係者は商売になるということで、今の農業事情で田の所有者はみんなその話に乗る。そういう情報をいち早く収集して、どういう道路計画をしたらいいか立てていただいて、国の補助は今の国土強靱化で、池田知事は事務方のトップ経験者なので一番よく知っている。知事選に出るとき、池田知事が城南に来られ、「もう少し丸亀で県道も市道も出来ていると思っていただけれど」と言っていたので、私は清水川、県道の丸亀三好線の拡幅と交差点改良また、停車場線も含めて走った時に、これはしていただきたいと言った。

それと、438号線は坂出市の避難路である。丸亀市の避難路で計画立ててもらうのであれば、停車場と三好線。これが大体まちのど真ん中の道になるので、やはり郡家街道を拡げていただきたい。60年近く変わっていない。水路に蓋をただけ。下水道整備を進める為にもよろしくお願いします。

(市長)

土地の持ち主の方々が。

(会長)

今なら東にまだ余裕がある。

(市長)

しっかり要望していく。私は4週連続で東京に陳情に行っている。高松はやはり県庁所在地なのであれだけ道が出来る。県の職員が直接どんどんやっていっている。丸亀はほったらかしではないか、という部分は県知事についてこの間言ったところである。

(所長)

ありがとうございます。私たちの地域もいろいろ問題があるが、市と地元と共通認識の上、住みよいまちづくりを目指していきたい。よろしくお願い申し上げます。あと何かあるか。

(コミュニティ3)

この地域はやはり、下水道の整備を進めていただきたい。

それから、城南小学校の裏の東西線の拡幅について。この間も林クリニックと隣のアイプラス調剤薬局の交差点で続けて交通事故が起きているので、道路の改良が急がれると思う。

(会長)

先ほど言った林病院の西側の田んぼの持ち主と、南中の東南の田の持ち主とポンプで田んぼに水を入れている人は同一。その人は年を取ってきたせいか、今年は南中のところの田んぼはしていない。それならあそこを南中の敷地にするなど。どうして西中ばかりに城南の子が行くか。やはり40年近く南中は経っているから。

この間の運動会に教育長が来た時に学校教育課にも話したが、教育委員会は調整するが気持ちはひとつもない。もう住民に任せているという話。それなら情報を流してあげていただきたい。南中は教室に余裕ある。西中に行っても教室はすし詰め状態。プレハブを建てるという話まであった。

(市長)

特別教室を普通教室に変えたらいいということで変更した。

(会長)

特別教室の人にしわ寄せがいつている。城南の父兄や子供の選択に任すなら、やはり情報を流してあげて欲しい。

小学校6年間の友達と中学校に行っても、高校や大学で別れる。人生の中でいろいろなところ行って友達を作っていくことがやはり人間力を高めていく。

今日立哨していて南中学1年生何人か聞いたら、今年は10人いったらしい。今までは5人程度。やはり南中でクラスに余裕があることを、城南のみんなに情報を教育委員会は出さなければいけない。それで選択するならいいが、友達が行くから付いていく。南中の目の前の子供も西中に行くと言う。なんかちょっとおかしい。

我々は城南の子供たちがより安全に行けるように市道の南部幹線を拡げた。何がいけないのか。道路照明がないなら付けてあげたらいい。あの辺りは田んぼも減ってきている、やはりそういうこと1つからしていく。それだけあのエリアの子供たちが西中にいくのは何かおかしい。

より良い学校生活が送れてスポーツもできるという情報を子供たちにも十分与えて、城南の子供たちが選択制になっているのであれば、やはりそういう風にして欲しい。以上である。

(所長)

それでは、これで市長と語る会を終了する。今日はお忙しい中、ご出席いただきお礼申し上げます。